

「慢性骨髄性白血病に対するダサチニブの効果と副作用にプロトンポンプ阻害薬またはH₂受容体拮抗薬の併用が及ぼす影響の研究調査」について

研究の概要

ダサチニブ（商品名：スプリセル[®]）は、慢性骨髄性白血病に使用されるお薬です。このお薬はプロトンポンプ阻害薬やH₂受容体拮抗薬といった胃潰瘍などの治療に使用されるお薬と一緒に使用することで吸収率が低下するという問題があります。本研究では、ダサチニブを内服している患者さんを対象に、プロトンポンプ阻害薬やH₂受容体拮抗薬がダサチニブの治療効果や副作用に影響を与えるかを調査します。

研究の目的

本研究の目的は、ダサチニブの治療効果と副作用にプロトンポンプ阻害薬やH₂受容体拮抗薬が影響するかを検討する事です。これにより、今後これらのお薬と一緒に使用する事での利点と欠点をふまえた薬物療法が設計されます。

本研究の参加について

本研究の参加は、患者さんの自由意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否していただくことができます。その場合は、病院の担当医師または下記の問い合わせ先にご連絡ください。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。患者さんの個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

対象となる患者さんの利益・不利益

この研究は、患者さんのデータをカルテなどから調べるだけですので、対象となる患者さんに利益及び不利益はありません。また、本研究で得られた病歴や検査所見などの情報は遺漏がないよう十分注意して取り扱います。

調査期間

2017年7月から2019年12月にかけて、研究にかかわる担当者がカルテを調査します。

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個

々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構 西別府病院 薬剤部 桑原 貴美子

問い合わせ先

国立病院機構 西別府病院 薬剤部 桑原 貴美子

所在地：大分県別府市大字鶴見4548番地

電話：0977-24-1221（代表）